



歴研ニュース



News-Letter NO.17
発行日 2005年8月2日
発行 飯田市歴史研究所
〒395-0002
長野県飯田市上郷飯沼3145
電話 0265-53-4670
ファクシミリ 0265-21-1173
E-mail iuhr@city.iida.nagano.jp

第3回 飯田市地域史研究集会を開催します

8/27-28
2005
土 日

8月27日 (土) シンポジウム

午後1時～5時

古島敏雄の人と学問

古島敏雄 (ふるしまとしお) は飯田出身の農業史学者です。飯田・下伊那の史料を用いて多くの歴史研究を発表し、戦後歴史学の重要な土台を築きました。

古島敏雄が没して10年。彼の業績を振り返りつつ、そこから未来の地域像を構想する方法を、皆さんとともに考えたいと思います。

- 記念講演 古島史学との出会い
山口啓二 (近世史研究者)
- 報告 教育者としての古島先生
岩本純明 (東京大学大学院教授)
- コメント
吉田ゆり子 (東京外国語大学教授)
原 彰一 (郷土史家)

8月28日 (日) 研究報告会

午前9時30分～午後5時30分

近世下伊那における農書の世界
—森本家「農業雑記」の紹介—
多和田 雅 保
飯田市歴史研究所 研究員

図書館資料を物語る
—特殊資料を市民へどのように提供するか—
滝本 慈 宗
飯田市立中央図書館 司書

伝えよう久堅和紙の伝統を
下久堅小学校6年生

休憩・昼食

戦後の南信三地域の製造業の立地関連と
最近の海外直接投資の動向
山口 通 之
信濃史学会事業部役員

それからの羽生三七
—昭和期、敗戦までの思想的変遷—
橋 部 進
歴研ゼミナール 近現代史ゼミ

明治9年 士族から見た飯田
江下 以知子
東京大学大学院

中世の日中交流と伊那谷の禅僧
—異国文化の紹介者たち—
織田 顕 行
飯田市美術博物館 学芸員

高度成長期下伊那の離農・離村過程
—工場誘致と三六災害—
本 島 和 人
飯田市歴史研究所 調査研究員

※会場の出入りは自由ですので、興味のある報告のみ参加することも可能です。

● 期間中会場内では様々な催しを行っています。講演や報告の合間にお楽しみください。

- ・ パネル展示「古島敏雄の足跡」
- ・ アートパフォーマンス 池上純子
- ・ ミニコンサート
27日 桜井絵美 (ピアノ)
28日 飯田交響楽団 (弦楽四重奏)
- ・ 書籍販売

● 歴史研究所研究員会議を、一般公開で行います。

▶日時 8月27日(土) 午前9時～正午

▶会場 りんご庁舎 3階会議室

※事前のお申込は不要です。

会 場 追手町小学校講堂
長野県飯田市追手町2-673-1

参加費 500円 (2日間、資料代)
※高校生以下無料

主 催 飯田市・飯田市教育委員会・
歴史研究所・美術博物館・
図書館

問合せ 飯田市歴史研究所
長野県飯田市上郷飯沼3145
電話 0265-53-4670



飯田アカデミア2005

2005年下半期講座をご案内します。

■第4回講座
11月19・20日 鈴木 博之さん (建築史)
東京大学教授

■第5回講座
1月28・29日 岩本 純明さん (農業史)
東京大学教授

■第6回講座
2月18・19日 三上 喜孝さん (古代史)
山形大学助教授

■第7回講座
3月18・19日 加藤 陽子さん (近現代史)
東京大学助教授



第4回講師 鈴木博之教授

■時 間

1日目(土曜日) 13:30～17:00
2日目(日曜日) 10:00～14:30

■会 場

飯田市歴史研究所(飯田市上郷庁舎)
3F会議室

■募集人員 各講座30人

■受講料 資料代として500円(2日間分)

■お申込方法

電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。

※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは、住所・氏名・電話番号を明記してください。

※講座内容等、詳細は後日改めてお知らせします。事情により会場などが変更となる場合があります。

新刊紹介

飯田市歴史研究所と地域史研究の理念を共有する、和泉市史編さん委員会からのお知らせです。

大阪府南部に位置する和泉市の歴史を叙述。地域の生活構築の歴史を目指し、「歴史的総合調査研究」を通じて描きました。

図版・写真をふんだんに使用し、オールカラーで掲載しています。平易な文章を心がけ、親しみやすさ、読みやすさを目指しています。

第1巻は横山地域の地域叙述編です。一山寺院である槇尾山施福寺の寺院社会を軸とする地域社会について、その生成・発展・展開を歴史的に叙述し、新しい地域史を方法的に模索、提示しました。

『横山と槇尾山の歴史』

(「和泉市の歴史」1、和泉市史編さん委員会編、2005年3月)

価格3,000円+送料340円

購入希望の方は郵便為替か現金書留にて下記までご注文ください。

問合せ・申込先

和泉市教育委員会文化財振興課

〒594-8501 大阪府和泉市府中町2-7-5

☎0725-41-1551 Fax0725-41-0599



全9巻の構成(予定)

地域叙述編(5巻)

和泉市域を自然的・歴史的背景をもつ5つの地域に分けて描きます

テーマ叙述編(3巻)

各時代の特徴をあらわすようなテーマを掘り下げます

通史編(1巻)

市域全体の歴史の流れをまとめます

歴研ゼミだより

参加者のみなさんと一緒に歴史の研究を行い、研究方法を学んでいただくための講座を開いています。「教える」ではなく「ともに学ぶ」ことを目指します。

6月・7月の内容

近世史ゼミ

6月7日 天和元年キリシタン取締文書を読む
6月21日 伊那街道伝馬宿設置関連文書を読む
7月5日 島田村豪農の奉公人に対する勤務規定
7月19日 古島敏雄「作物作付順序と地力の維持」を読む

■テーマ 近世下伊那の民衆生活史
■対象 一般(どなたでも)
■開催日 隔週火曜日
■時間 午後7時～8時40分
■担当 多和田雅保(研究員)

近現代史ゼミ

6月9日 個人研究報告「それからの羽生三七」(橋部進)
6月30日 聞き書き調査報告① 曲物屋さんのはなし
7月7日 聞き書き調査報告② 紙問屋さんのはなし
7月28日 聞き書き調査報告③ 提灯屋さんのはなし

■テーマ 地域社会史入門～飯田町の記憶を探る
■対象 一般(どなたでも)
■開催日 隔週木曜日
■時間 午後7時～8時40分
■担当 田中雅孝(調査研究員)

現代史ゼミ
(英語文献講読)

6月8日 お休み
6月22日 A Globalizing Economy グローバル化する経済
7月6日 Transborder Products 境界を越える製品
7月20日 Supraterritorial Money 土地を飛び越えるマネー

■テーマ 地域社会とグローバリゼーション
■対象 高校生以上
■開催日 隔週水曜日
■時間 午後7時～8時30分
■担当 鬼塚 博(研究員)

★各ゼミとも歴史研究所研修室で行っています。お気軽にご参加ください。

6月25日(土)、古島敏雄の論文『伊那街道における中馬の発達—飯田町の資料を中心として—』の読書会を行いました。

今回は参加者のみなさんとともに、論文の内容を把握することを最大の目標としました。特に伊那街道の宿場の機能を具体的に理解することに重点をおき、多くの時間を割きました。

討論では中馬を通じて流通する油、煙草、たがなどの商品について関心が集まりました。地域における市場構造を明らかにしていくことが、今後の課題といえるでしょう。参加者のみなさんからも興味深い意見が多く出され、活発な議論となりました。



論文紹介『伊那街道における中馬の発達

—飯田町の資料を中心として—

この論文は古島の名著『信州中馬の研究』に先だって、1938(昭和13)年に書かれたものです。

伊那街道では16世紀末より伝馬制度が整備されましたが、17世紀から宿駅を付け通す中馬慣行がみられるようになり、宿場との間で争論が繰り返されました。中馬慣行は飯田城下町の商業的発展を促しつつ、ますます盛んになり、とうとう明和元(1764)年、信濃国全域において幕府の公認を受けることとなりました。

これほど中馬が発展した理由として、運賃の低廉性や運送の安全性、迅速さなどがありますが、この論文では特に、産地仲買商人に対する敷金機能を有していた点に注目しています。



中馬一件記録集(飯田市立中央図書館蔵)
中馬に関する争論の貴重な記録です。

中学生が歴史研究所の仕事を体験

歴史研究所で **体験学習**

7月15日(金)、飯田西中学校の3年生2人が、体験学習として歴史研究所を訪れました。

簡単な説明の後、実際の仕事に取り組んでもらいました。まずはマイクロ撮影、紙焼、ファイル綴じ。初めてみる機械に少し緊張しながらも、真剣に取り組んでいました。

次に、所内にある昔の新聞記事コピーの整理をしました。今の新聞より字が小さくて文も難しい…。

作業中にふと目にとまったのは、昭和12年9月27日の『南信』に書かれていた、こんな記事。「飯中に最初の廊下体操」えっ、廊下体操って何でしょう？

これは「緊迫する事変」にそなえた「全国学校としては初の試み」で、各教室前に1間(1.8メートル)ほどの高さに鉄棒を並べて実施したそうです。まず教官室の前に造ったところ「成績良好」だったため、廊下全部で行い、冬でも生徒が「鉄の身体をきたへ上げることになった」のでした。

なんとか記事は読めましたが、まだよく分かりません。本などで調べましたが、新たな情報を得ることはできませんでした。そこで中学生2人が考えたイメージ図が右の絵です。

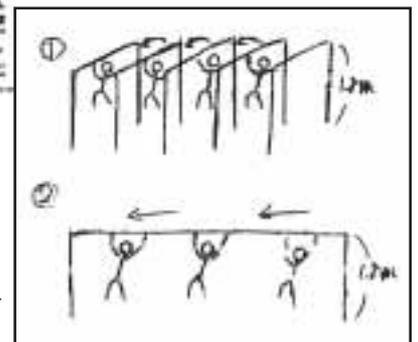
当時の旧制中学の様子的一端が分かる記事でした。昭和12年ごろというのは、こういった形で戦争の影が日常にどんどん入り込んできていた時期だったのです。

手も使い、頭も使い、充実した1日を過ごしました…よね？お疲れさまでした！



▲『南信』
(昭和12年9月27日)

中学生の描いた廊下体操のイメージ図▶



第2回飯田市地域史研究集会シンポジウム「下伊那の国学」の講演記録や、地域史研究の成果を多数収録しています。



- シンポジウム講演記録
- 論文・研究ノート
 - ・ 日露戦争と地域社会の組織化－長野県上郷村を事例に－
 - ・ 工場誘致と農山村の変貌－阿南町新野の女性たちを通して－
 - ・ 飯田城下十三町と商売物
 - ・ 飯田電灯株式会社と松川筋の発電所
- 歴史的建造物調査 菅沼家住宅
- オーラルヒストリー
 - ・ 疎開工場が地域に根付いて
 - ・ 久堅和紙を漉き続けて

定価 1300円(本体+税)
 飯田市歴史研究所 編
 2005年8月20日発行
 B5版、208頁
 ※飯田市歴史研究所、市役所行政資料コーナーのほか飯田市内書店でも販売。
 ※宅配希望の方は、実費で発送を承ります。

問合せ：飯田市歴史研究所
 ☎0265-53-4670

歴研日誌 6月・7月

6月

- 5月31日～6月3日 歴史的建造物調査(旧測候所など)
- 1日 『わたしたちの飯田線』販売開始
市内小学校史料調査
- 3日 市公文書移管終了
- 7日 近世史ゼミ
- 8日 市内小学校史料調査
- 9日 座光寺史料調査会/近現代史ゼミ
- 11日 川路関島桃子氏所蔵史料調査
- 14日 文書くん蒸(美博へ搬出)
- 15日 市内小学校史料調査
- 18日～19日 飯田アカデミア2005「世界史を構想する:1900年前後と1990年前後の世界」を開催。講師は南塚信吾さん(法政大学教授)。
- 21日 近世史ゼミ
- 22日 市内小学校史料調査/現代史ゼミ
- 23日 座光寺史料調査会
- 25日 読書会「古島敏雄をよむ①」
- 29日 市内小学校史料調査
- 30日 近現代史ゼミ
マサチューセッツ大学生に飯伊の歴史を講義(鬼塚・多和田雅)

7月

- 2日 個人情報保護法研究会にて報告(多和田雅・多和田真)

- 5日 近世史ゼミ
- 6日 市内小学校史料調査
- 7日 現代史ゼミ
- 8日 古島敏雄関係文献収集
- 9日 研究活動助成申込〆切
NPO世界歴史文化交流フォーラムで報告(鬼塚)
- 9日～10日 歴史的建造物調査
- 10日 第2回旧瀧澤医院再生委員会開催
- 12日 飯伊婦人文庫のみなさんが研究所を見学
- 13日 市内小学校史料調査
- 14日 座光寺史料調査会/近現代史ゼミ
- 15日 飯田西中学校体験学習
- 16日～17日 飯田アカデミア2005「信州の村々と古島史学(シリーズ古島敏雄の人と学問①)」を開催。
講師は青木美智男さん(専修大学教授)。
- 20日 市内小学校史料調査/現代史ゼミ
- 21日 下久堅南原区有文書調査
- 23日 読書会「古島敏雄をよむ②」
- 24日 桐林区有文書見学
- 26日 市政ガイド研究所を訪問
上郷北原家史料調査
- 27日 市内小学校史料調査
- 27日～30日 武蔵高校古文書調査実習で来所
- 28日 座光寺史料調査会/近現代史ゼミ
- 28日～30日 歴史的建造物実測調査(川路諏訪神社、福島家住宅、脇坂門)
- 29日 高橋勉さん聞き取り調査

8月・9月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
	1	近 ²	英 ³	4	5	6
7	8	9	10	現 ¹¹	12	13
14	15	16	英 ¹⁷	18	現 ¹⁹	20
21	22	近 ²³	24	25	26	研 ²⁷
研 ²⁸	29	30	英 ³¹			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	近 ⁶	7	現 ⁸	9	10
11	12	13	英 ¹⁴	15	16	17
18	19	近 ²⁰	21	現 ²²	23	24
25	26	27	英 ²⁸	29	30	

※8月27日は研究集会のため臨時休所です。

□ 開所日 □ 休所日 研 研究集会

開所時間 午前9時～午後5時

休所日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

近…近世史ゼミ
 現…近現代史ゼミ
 英…英語でよむ現代史ゼミ

